

神達・丸塚地区土地利用計画イメージ図

元町地区復興まちづくり 産業振興ゾーン(地域振興エリア)土地利用検討結果について(概要版)

コンセプト

- 「時代に合った地域性を活かしたまちづくり」
地域産業の自立的発展を図り、笑顔あふれる。誰もが暮らしたくなる魅力あるまちづくりの拠点とする。
- 「しごとをつくり、安心して働ける島・大島」
特産品の開発・商品化や担い手の確保・育成、情報発信・情報共有という施策を実践できる施設整備。

1 建設予定地の選定

- 地域振興エリアの上流部(町道木伐大道沿線)

2 基本方針

- 大島町の産業振興、地域振興の核となる場所とする。
観光拠点となる火山博物館、隣接する宿泊エリアや文教福祉ゾーンと連携し、多くの住民と観光客が集い、交流する場とする。
- 商工福祉館老朽化のため、商工会・シルバー人材センターの機能を移転させ、両団体と協力して地域振興を図れる施設を検討する。
- 整備にあたり、費用対効果を十分検証し、過度な施設整備は行わない。

3 管理運営主体

- 地域振興の核となる施設整備には、管理運営主体の検討が重要
今後、大島における地域振興を推進するためには、地域振興に積極的な民間事業者の育成・参入等が不可欠である。
検討チームでは、商工会・シルバー人材センターを加え、地域振興施設の管理運営について協議を進めてきた。
施設の管理運営は、収入に限度があり、町からの補助金が膨らむ傾向がある。一方、既存施設を活用して「稼ぐ」ことを、今後、求められる。そこで、各施設の包括的な運営やイベントの委託等も視野に入れて、各種団体の再編成を検討する。
- 公募による運営主体の募集
新たに整備する地域振興エリアの管理運営主体は広く公募により募集する。
島内外の民間事業者や新たな団体・既存団体など、参入を希望する事業者・団体等をプロポーザル方式により競争させる。
(公募実施までの間に団体・人材等の育成を図る。)

4 整備内容(案)

(1)基本施設

大島町の地域振興の中核を担う商工会・シルバー人材センターの事務室等を整備し、産業振興の拠点とする。

- ①商工会：事務室、書庫、倉庫
- ②シルバー人材センター：事務室、作業所、書庫、倉庫
- ③共有部分：会議室、駐車場、給湯室、トイレ、応接室等

(2)産業振興施設(主要施設)

多くの住民や観光客が集い、産業振興、地域振興の拠点となる主要施設として、次の施設整備を検討する。

- ①物産販売所：ぶらっとハウス、海市場等と協力し、農水産物を販売
- ②食堂・飲食物販売：「地元の人々が通う店」をコンセプトに、大島産の農水産物を使用した料理を提供
- ③フリースペース：住民や観光客、子どもからお年寄りまで自由に出入りできるスペースを確保し、交流の場とする。
- ④産業広場：イベントが開催できる広場を整備。イベント開催時には移動販売やコンテナ販売などが出来る場所とする。
- ⑤インキュベーション施設：調理室、事務室、作業所等を整備し、

(3)観光産業振興施設(付随施設)

新たな産業や雇用の創出、観光振興との連携のため、周辺地域や施設との整合性を図りつつ、次の施設整備の必要性等を検討する。

- ①研修室・会議室：島外者がシンポジウム、合宿、研修等に利用できるスペースを検討する。
- ②シェアサイクル拠点：大島町のサイクルツーリズムの拠点としての整備を検討する。
- ③インフォメーションセンター：来島者にワンストップできめ細かいサービスを提供する場所を検討する。
- ④キャンプ場：オオシマザクラの名所としてBBQをしながら花見が出来

5 今後の方針

- 大島町における今後の観光産業振興の方向性を明確にしつつ、観光産業課において検討を進める。

大島町複合公共施設建設について

平成29年3月
教育文化課

1 目的

町では、元町丸塚地区に老朽化等により建設について検討を進めていた図書館と、分散していた教育・福祉関係機関を集約した複合公共施設を建設する予定です。

これは、近隣に建設予定の新元町保育園(仮称)も含めた、教育・福祉機関の連携による、支援体制のより充実化を図ることを目的としています。

2 これまでの経緯

- 平成25年2月 第1回大島町新図書館建設準備委員会(計3回)
- 平成26年1月 第1回大島町図書館建設検討委員会
町民代表委員(公募)2名含め10名の委員で運営
平成29年3月15日現在までに11回開催(都内図書館視察1回含)
平成27年7月建設候補地について具申
平成27年8月町長より回答(元町丸塚地区選定)
- 平成28年2月大島町復興プロジェクトチーム(文教福祉ゾーン作業チーム検討開始)
平成28年7月文教福祉ゾーンについて答申

3 今後の予定



4 仕様等

場所：元町字丸塚地区 新元町保育園(仮称)建設予定地上部
機能：1階部分…図書館 2階部分…教育委員会・子ども家庭支援センター等



*現時点の案のため、今後、変更になる可能性があります。

新元町保育園（仮称）建設について

基本構想 「子どももお年寄りも安心して暮らせる生活環境創り」・「笑顔あふれる、誰もがくらしたくなる島」

1 建設の経緯等

○現在の元町保育園は、建設から43年が経過し、老朽化が進んでいることから建替えをし、施設内容を充実させ、ニーズに応えた事業を進めていきます。

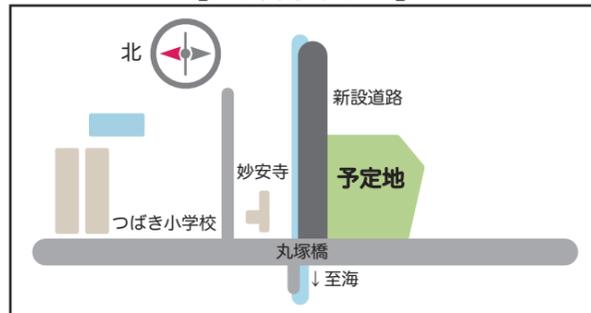
○建設予定地の神達・丸塚エリアは、「元町地区復興まちづくり土地利用検討部会」（委員長:副町長）において、「文教・福祉ゾーン」に位置付けられました。

○同ゾーンに建設予定の複合公共施設と連携を図り、子育て支援体制を確立します。

【完成イメージ・南面】



【建設予定地】



2 新元町保育園の機能

○大島町の子育て応援拠点として位置付ける

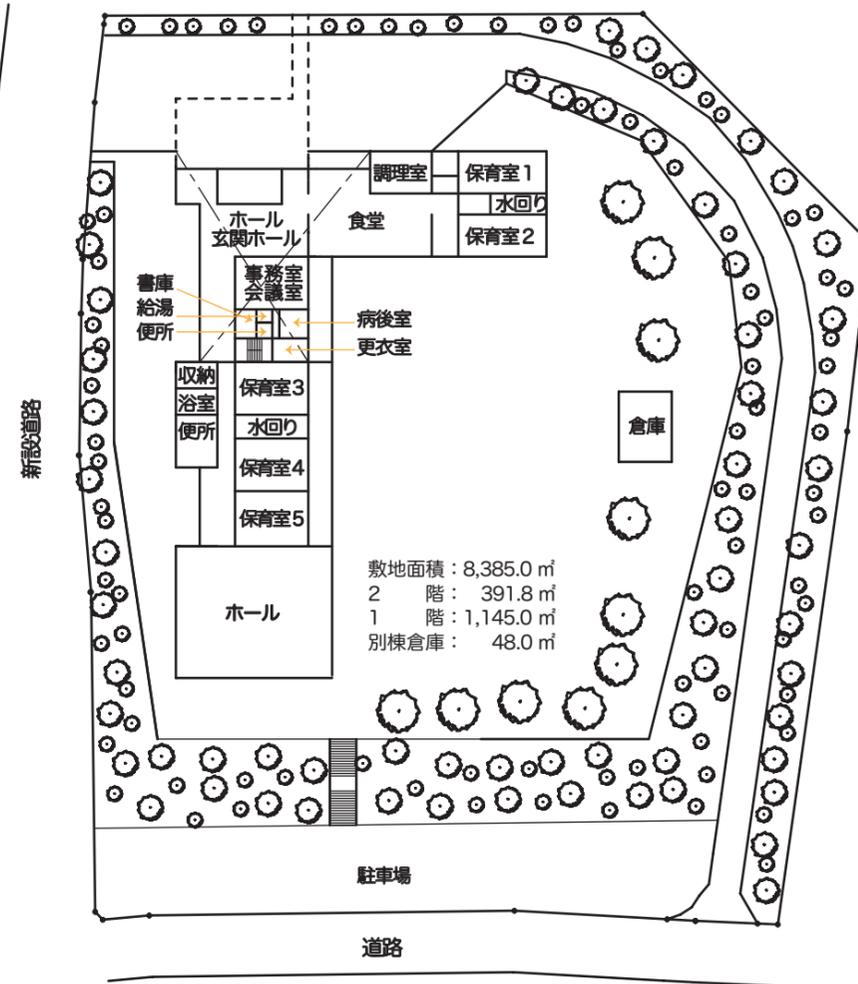
- (1) 新たなサービスとして、「病時・病後児保育」の実施に向け検討
- (2) 園舎を2階建てとし、そこを拠点とした子育て支援の充実

3 危機管理体制

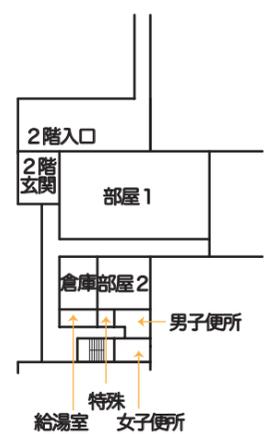
- (1) 大雨警報発令時には、在園児の緊急退避場所（2階）とする。
- (2) 各避難情報の対応は以下のとおり。（従来と同様）
 - 「避難準備・高齢者等避難開始」→ 保護者による引取り
 - 「避難勧告」・「避難指示（緊急）」→ 休園

4 仕様・設備

【配置図・1階平面図】



【2階平面図】



児童数約 100 名規模
(職員数 15、各保育室 20 名程度)

元町保育園園舎
(RC2階（一部）建て)

【1階】事務室、会議室、更衣室、給湯室、保育室5（1～5歳児）病児・病後室、調理室（休憩室・トイレ含む）浴室、室内倉庫、トイレ（園児用2カ所、大人用1カ所）、ホール（舞台付き）300㎡

【2階】多目的ホール、トイレ（園児用、子供用、大人用）、給湯室

【外構】元町保育園庭園整備（2,500㎡周囲に遊具等設置、砂場）、駐車場（施設内 50 台、隣接複合施設 100 台）

5 スケジュール

平成 28 年度

概略設計書作成
用地交渉
用地買収

平成 29 年度

測量
地質調査
基本設計

平成 30 年度

実施設計
造成工事

平成 31 年度

建設工事

*現時点での案のため、今後変更になる可能性があります。